



東亞合成株式会社

2017年12月期
第2四半期決算説明会資料

2017年8月8日

連結の範囲

連結子会社数 : 20社 (前期比1社増 2016年8月 トウゴウセイ・タイランド設立)

持分法適用会社数 : 2社 (変更なし)

	2016.2Q	2017.2Q	増 減	
売上高 (百万円)	66,871	70,743	3,872	5.8%
営業利益 (百万円)	7,273	8,793	1,519	20.9%
営業利益率	10.9%	12.4%	1.5%	—
経常利益 (百万円)	7,592	9,381	1,789	23.6%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (百万円)	4,947	6,584	1,637	33.1%
1株当たり四半期純利益 (円)	37.58	50.02	12.44	—
第2四半期配当(年間) (円)	13.0(26.0)	13.0(26.0)	0.0(0.0)	

従来セグメンテーション

基礎化学品

- 電解製品
- 高純度無機製品

アクリル製品

- アクリルモノマー
- アクリルポリマー
- アロニックス

機能製品

- 一般用瞬間接着剤
- 機能性接着剤
- 無機機能材料

樹脂加工製品 (アロン化成)

再編後

【経営基盤を支える事業】

基幹化学品

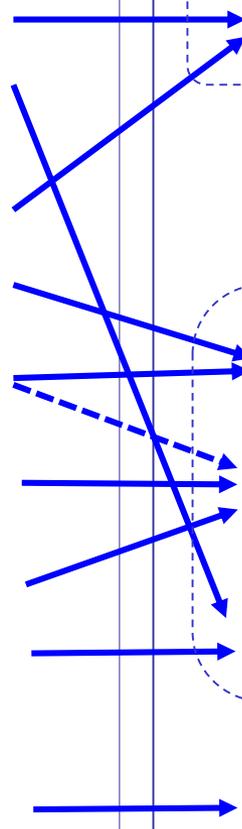
【成長戦略の中核を担う事業】

ポリマー・オリゴマー

接着材料

高機能無機材料

樹脂加工製品 (アロン化成)



連結業績（部門別）

売上高（連結部門別）

（百万円）

	2016.2Q	2017.2Q	売上増減		
			数量差	単価差	増減額
基幹化学品	30,197	32,684	1,273	1,215	2,487
ポリマー・オリゴマー	13,120	13,850	1,065	△335	729
接着材料	5,763	5,938	176	△3	174
高機能無機材料	3,381	3,773	447	△55	391
樹脂加工製品	12,859	12,838	191	△212	△21
その他	1,548	1,658	109	0	109
合計	66,871	70,743	3,265	607	3,872

営業利益（連結部門別）

（百万円）

	2016.2Q		2017.2Q		増減
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	
基幹化学品	1,805	6.0%	2,985	9.1%	1,180
ポリマー・オリゴマー	2,158	16.5%	2,302	16.6%	143
接着材料	1,438	25.0%	1,400	23.6%	△37
高機能無機材料	884	26.2%	1,188	31.5%	304
樹脂加工製品	864	6.7%	791	6.2%	△72
その他・調整額	121	—	122	—	1
合計	7,273	10.9%	8,793	12.4%	1,519

【営業外損益】

(百万円)

	2016.2Q	2017.2Q	増 減
受取利息・配当金	507	480	△27
持分法による投資利益	237	208	△28
為替差損	△284	△89	195
固定資産賃貸料	61	48	△12
雑収入	47	104	57
支払利息	△51	△48	3
環境整備費	△70	△53	17
遊休設備費	△49	△34	15
雑支出	△77	△27	50
合計	318	588	270

・持分法利益

(百万円)

	2016.2Q	2017.2Q	差異
エルマース・トウアコウセイ	209	183	△26
中部液酸	27	25	△2
合計	237	208	△28

【特別損益】

(百万円)

	2016.2Q	2017.2Q	増 減
固定資産売却益	-	369	369
投資有価証券売却益	-	6	6
補助金収入	10	35	25
固定資産処分損	△176	△184	△7
投資有価証券評価損	△5	-	5
合計	△171	227	399

・固定資産売却益

東亜合成:名古屋遊休土地売却

・為替レート

(円/US\$)

2016年6月末	2016年12月末	2017年6月末
102.91	116.49	112.00

連結貸借対照表

(百万円)

	2016.12	2017.6	増 減
現 預 金	28,966	29,228	262
売 掛 債 権	40,302	39,675	△626
有 価 証 券 ①	44,000	47,000	3,000
棚 卸 資 産	14,162	15,383	1,221
その他流動資産	1,679	1,754	75
固 定 資 産	60,454	60,193	△260
投資有価証券②	26,983	29,959	2,975
その他固定資産	2,971	3,080	108
資 産 合 計	219,520	226,275	6,755
支 払 債 務	13,729	14,399	669
借 入 債 務	12,307	12,228	△79
未 払 法 人 税 等	4,142	2,301	△1,840
その他負債合計	16,337	18,298	1,960
負 債 合 計	46,517	47,228	711
純 資 産 合 計 ③	173,003	179,047	6,044
負債・純資産合計	219,520	226,275	6,755

【貸借対照表】

- ①留保資金の一部を有価証券で保有
- ②③株式市況の回復により投資有価証券の時価評価額が増加
- ③利益剰余金 4,873百万円増加

キャッシュフローの状況 (百万円)

	2016.2Q	2017.2Q	増 減
営 業 C F	12,744	9,568	△3,175
投 資 C F	△13,371	△7,147	6,224
F C F	△627	2,421	3,048

投資C F：2016.2Q比で3か月超の定期預金・譲渡性預金の運用開始額減少による。

連結会社概況（当期実績）

（百万円）

会社名	部門	持分 (%)	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
			16/2Q	17/2Q	16/2Q	17/2Q	16/2Q	17/2Q
1 東亜テクノガス	基幹化学品	100	2,224	2,252	266	245	187	179
2 (大分ケミカル)	↓	91.15	4,913	5,653	91	△9	△43	△28
3 トウアゴウセイ・シンガポール	↓	100	3,387	3,924	△70	356	△24	383
4 (MTエチレンカーボネート)	↓	90	234	240	1	1	1	1
5 MTアクアポリマー	ポリマー・オリゴマー	51	4,948	5,126	547	476	363	337
6 台湾東亜合成	↓	100	420	505	31	57	21	46
7 東昌化学	↓	51	543	546	45	13	45	11
8 張家港東亜迪愛生化学	↓	60	759	794	67	38	61	39
9 トウアゴウセイ・タイランド	↓	100	-	-	-	△31	-	△31
10 トウアゴウセイ・アメリカ	接着材料	100	1,508	1,119	212	147	201	149
11 (アロン包装)	↓	100	128	129	△8	△2	△8	△1
12 東亜合成香港	↓	100	158	174	27	25	22	115
13 東亜合成珠海	↓	100	176	173	32	28	23	17
14 アロン化成	樹脂加工	100	12,860	12,842	942	792	549	576
15 東亜興業	その他	100	527	520	△3	5	0	5
16 東亜ビジネスアソシエ	↓	100	512	552	24	40	16	28
17 TGコーポレーション	↓	100	5,797	6,007	167	185	112	128
18 (東亜物流)	↓	100	2,469	2,501	27	10	14	7
19 (四国東亜物流)	↓	70	528	586	1	7	1	5
20 (北陸東亜物流)	↓	90	112	117	1	0	1	0
単純合計			42,203	43,760	2,400	2,383	1,542	1,966

()の会社は、ほぼ全量が当社との取引

2017年連結業績予想

(百万円)

	2016年間実績(A)	2017上期実績	2017下期予想	2017年間予想(B)	増減(B-A)
売上高	135,382	70,743	71,257	142,000	6,618
営業利益	16,147	8,793	9,207	18,000	1,853
営業利益率	11.9%	12.4%	12.9%	12.7%	0.8%
営業外損益	787	588	112	700	△87
経常利益	16,935	9,381	9,319	18,700	1,765
特別損益	3,761	227	△128	100	△3,661
税前利益 (a)	20,696	9,609	9,190	18,800	△1,896
法人税等及び同調整額 (b)	6,473	2,836	3,063	5,900	△573
税負担率 (b)/(a)	31.3%			31.4%	0.1%
非支配株主に帰属する当期(または四半期)純利益	421	188	212	400	△21
親会社株主に帰属する当期(または四半期)純利益	13,801	6,584	5,915	12,500	△1,301
< 参考 >					
為替レート (円/US\$)	¥109.12	¥113.69	¥115.00		
ナフサ価格 (円/kl)	¥32,800	¥40,500	¥37,000		

(注) ナフサ：kl当たり1千円の変動で±300百万円。 為替：1円/USDの円安で△20百万円。

売上高

（百万円）

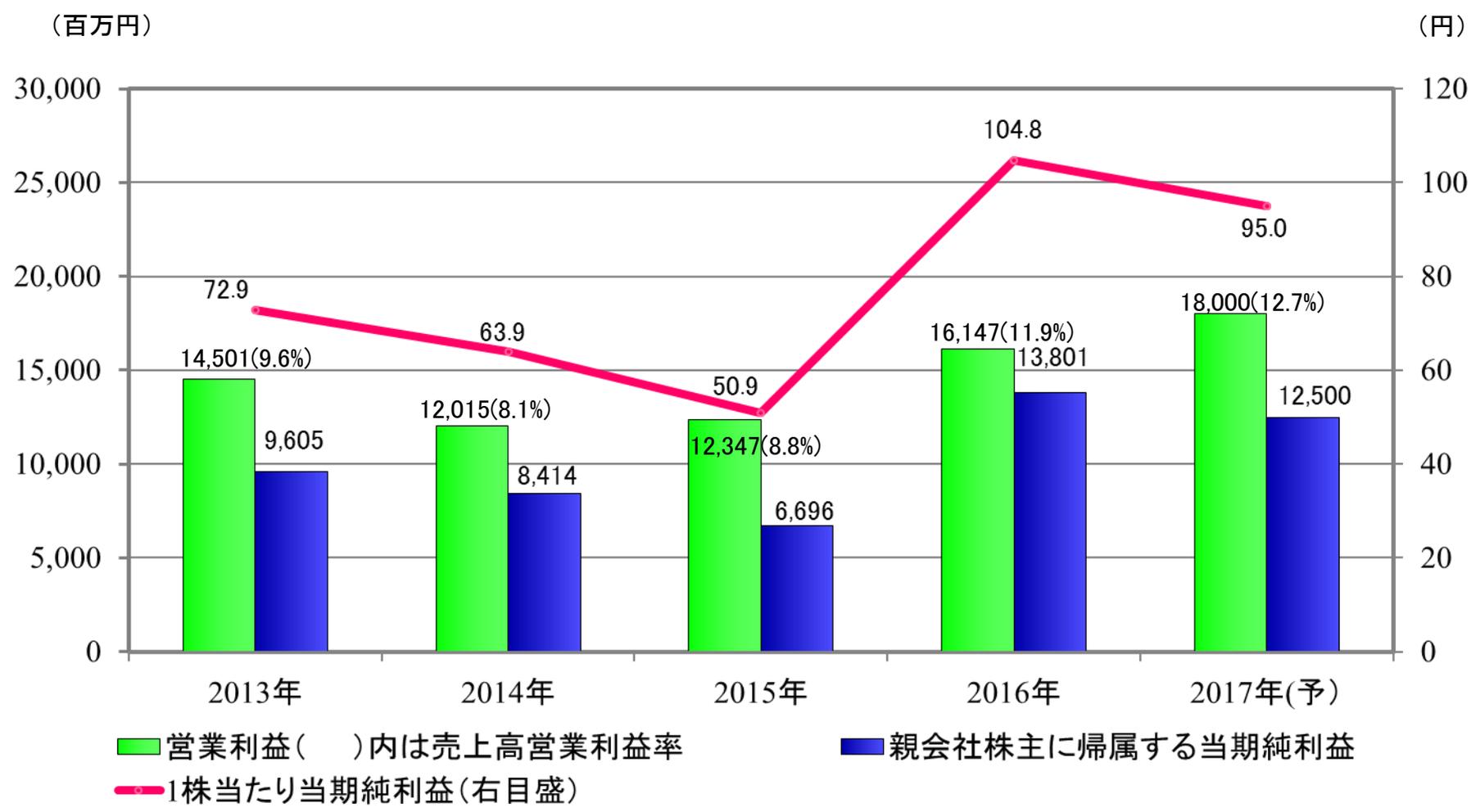
	2016実績	2017予想	増 減	増減要因
基 幹 化 学 品	60,707	64,300	3,593	[増収]アクリルモノマー、カセイソーダ [※] 、塩酸
ポリマー・オリゴマー	26,715	27,800	1,085	[増収]アクリルポリマー、光硬化型樹脂 [減収]凝集剤
接 着 材 料	11,648	12,400	752	[増収]機能性接着剤、瞬間接着剤
高機能無機材料	6,706	7,600	894	[増収]液化塩化水素、無機機能材料(IXE、ノハロン)
樹脂加工製品	26,447	26,700	253	[増収]ライフサポート、エラストマーコンパウンド [※] [減収]管工機材
そ の 他	3,157	3,200	43	
合 計	135,382	142,000	6,618	

営業利益

（）内は営業利益率（百万円）

	2016実績		2017予想		増 減	増減要因
基 幹 化 学 品	4,652	(7.7%)	5,900	(9.2%)	1,248	[増益]アクリルモノマー、塩酸
ポリマー・オリゴマー	4,595	(17.2%)	4,800	(17.3%)	205	[増益]アクリルポリマー、光硬化型樹脂 [減益]凝集剤
接 着 材 料	2,852	(24.0%)	3,000	(24.1%)	148	[増益]機能性接着剤 [減益]瞬間接着剤
高機能無機材料	1,784	(27.7%)	2,300	(30.3%)	516	[増益]液化塩化水素、無機機能材料(IXE、ノハロン)
樹脂加工製品	2,038	(7.7%)	1,900	(7.1%)	△138	[増益]ライフサポート [減益]管工機材
そ の 他	224	-	100	-	△124	
合 計	16,147	(11.9%)	18,000	(12.7%)	1,853	

連結業績推移

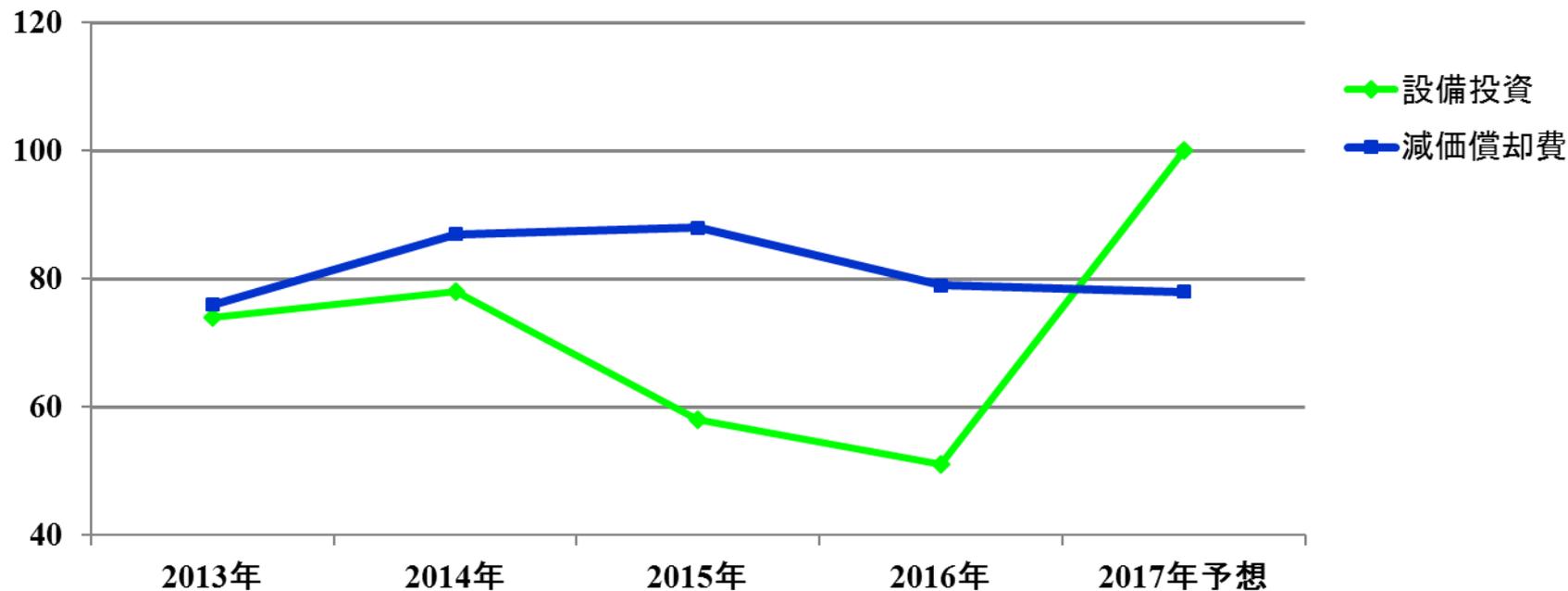


※2013年～2015年の1株当たり当期純利益は、2013年の期首に株式併合があったと仮定し、算定しています。

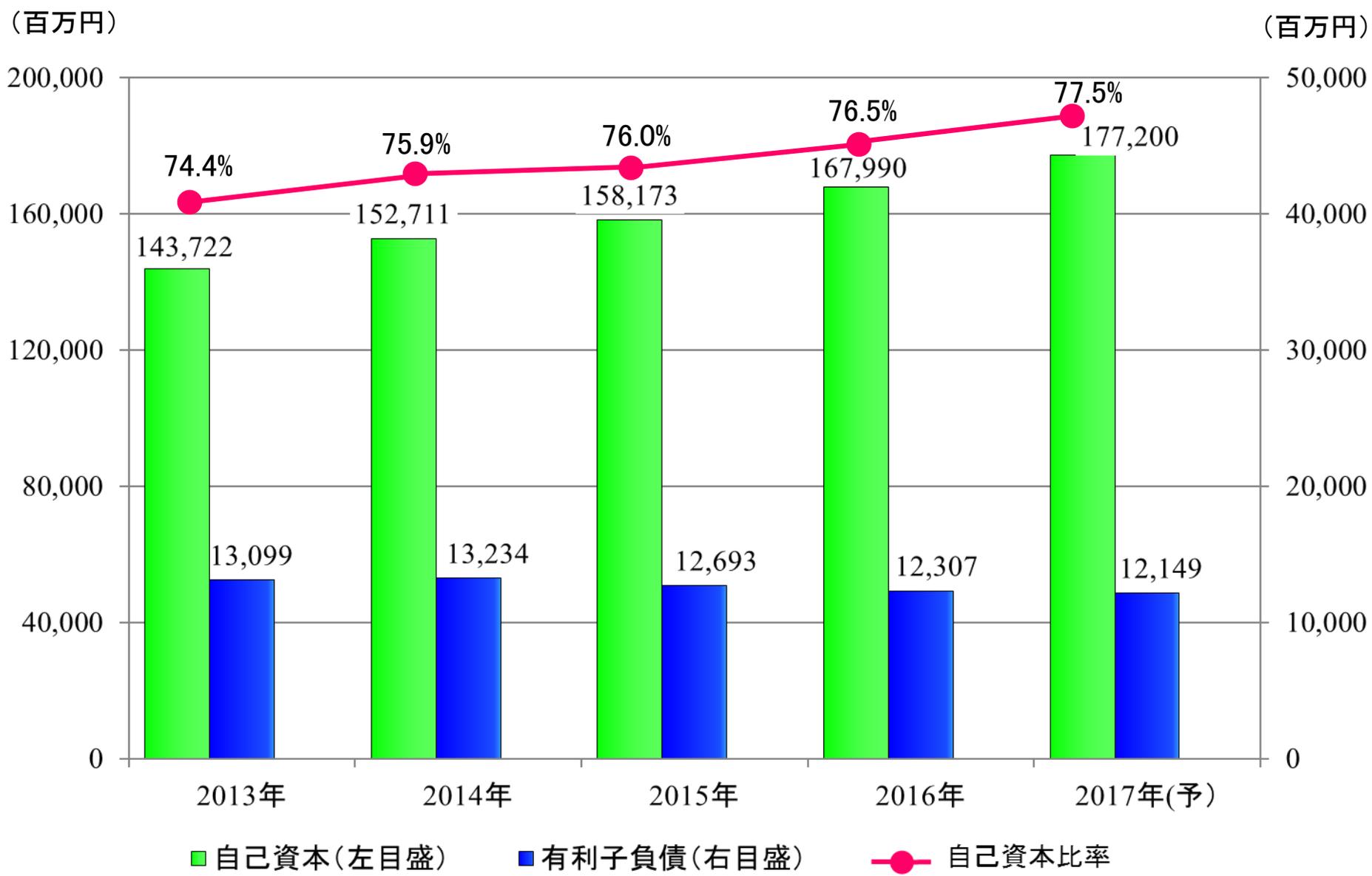
(億円)

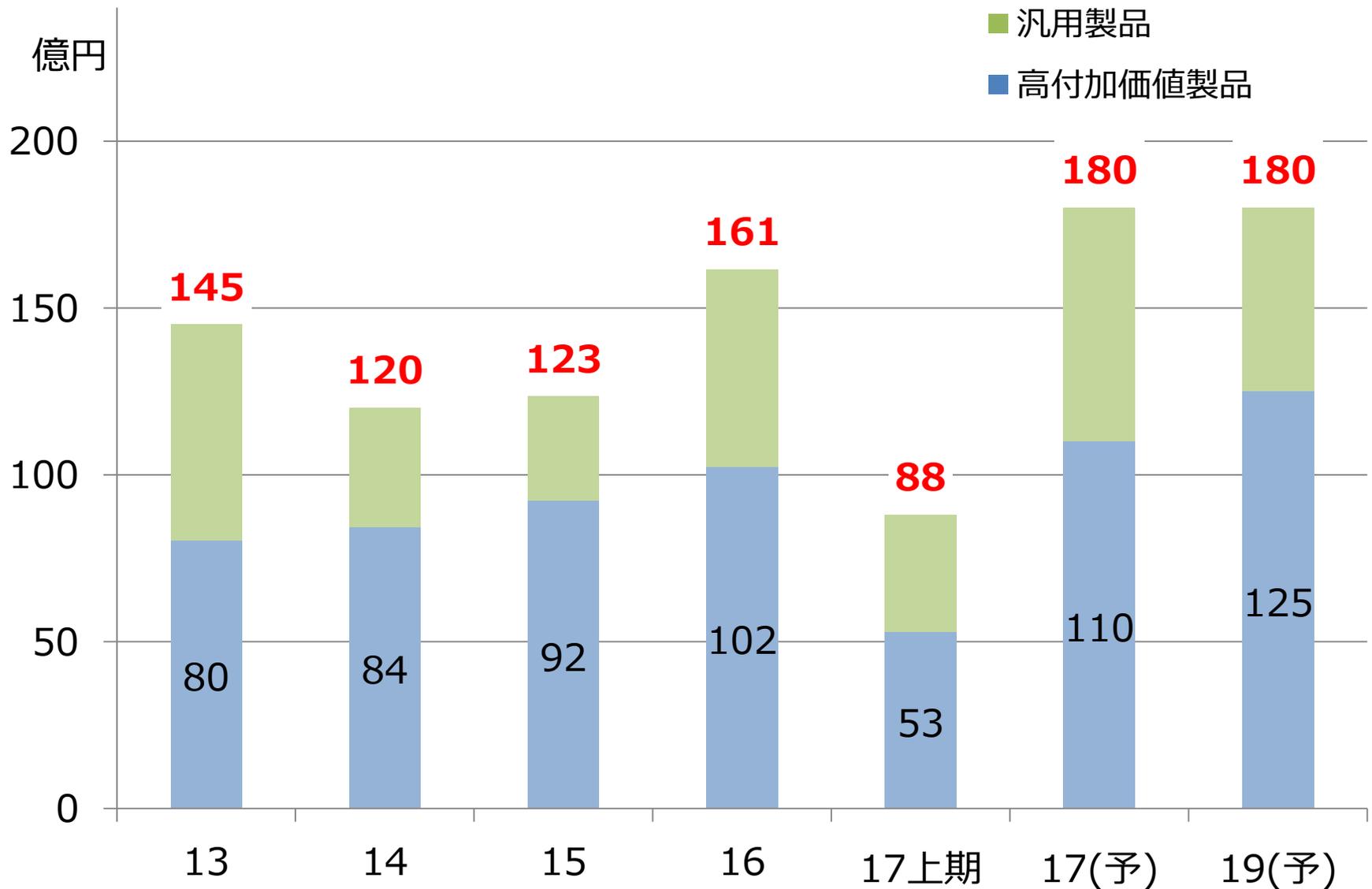
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年予想
減価償却費	76	86	88	79	78
設備投資	74	78	58	51	100
試験研究費	38	39	37	36	37
海外売上高	238	248	231	216	230
有利子負債	131	132	126	123	121

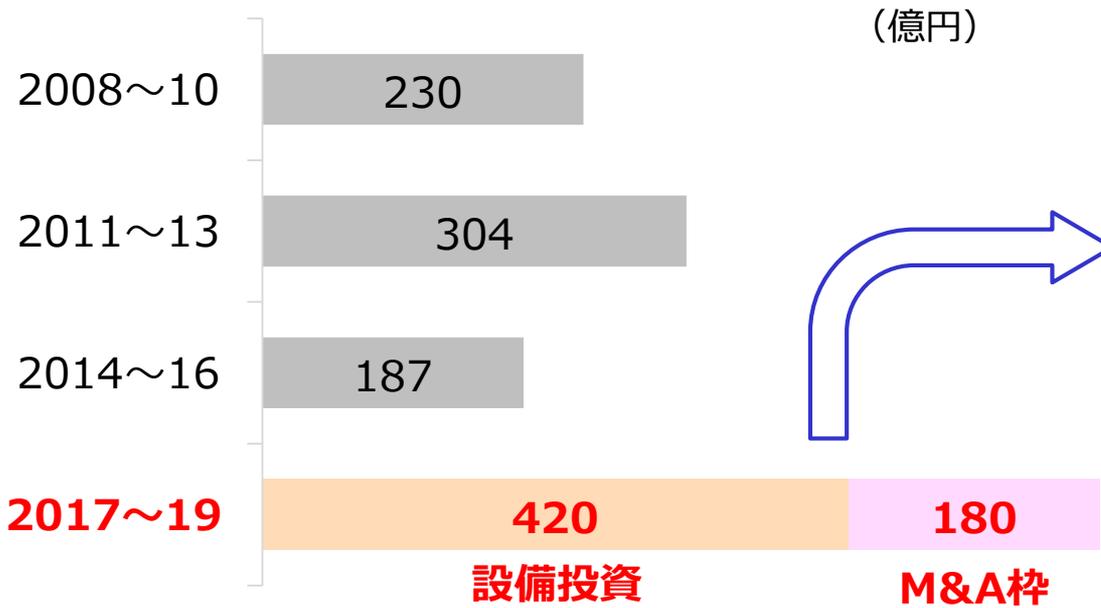
(億円)



連結経営参考数値の推移







【主な投資案件】

- ・水溶性ポリマー工場建設 (タイ1期事業計画)
- ・カセイソーダ・カリ電解設備更新 (名古屋工場)
- ・管工機材事業の生産体制再構築 (アロン化成)
- ・高付加価値製品設備の増強、事業強化
(アクリル川下製品、接着材料、高純度無機材料)
- ・インフラ整備、耐震対策 (高岡工場、川崎工場等)



アロン化成 名古屋工場
射出成形設備-配合棟の新設

～ Toagosei(Thailand) Co.,Ltd. ～

事業内容 : 水溶性ポリマーの製造・販売

所在地 : タイ王国チョンブリ県

ヘマラートイースタンシーボード2

工事着工 : 2017年6月

操業開始 : 2018年6月 (予定)

投資額 : 約30億円 (第1期)



～ タイ事業計画 ～

第1期 2017年～

水溶性ポリマーの東南アジア市場での拡販
⇒**早期プラント建設と稼働率アップ**

第2期 2019年～

機能性接着剤、エラストマー等への展開
⇒**現地マーケティング強化**



タイ工場起工式 : 2017年5月31日

～ 独自開発の触媒により新規アクリレートの量産に成功 ～

① グリセリントリアクリレート

低粘度と高硬度（耐擦傷性）の両立、各種基材に対する優れた密着性

② 高水酸基価ペンタエリスリトールトリアクリレート（PETA）

従来品に比べ、高柔軟性・密着性に優れた製品設計が可能

③ 低粘度ジペンタエリスリトールペンタ及びヘキサアクリレート(DPHA)

従来品に比べ半分の低粘度（溶剤希釈不要による作業性、生産性の改善）

【期待される用途分野】

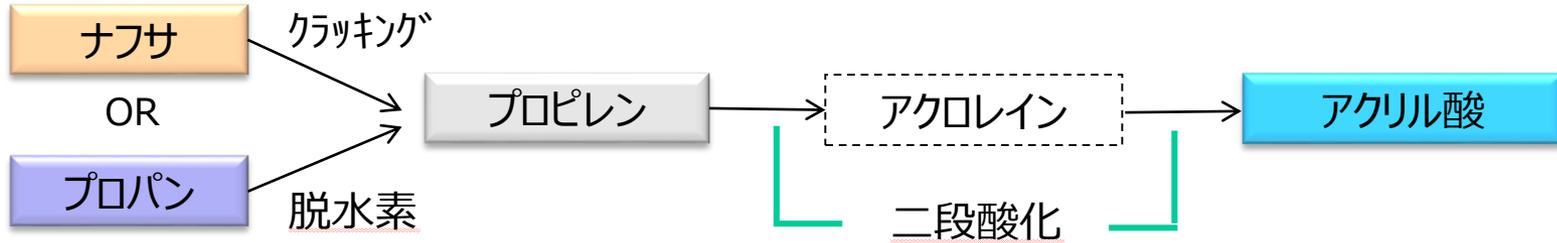
- ・ハードコート材（ディスプレイ用光学フィルムをはじめ、各種電子材料のハードコート）
- ・レジスト材料（ドライフィルムレジスト） ・UVインキ ・粘着剤
- ・加飾フィルム ・自動車部品



⇒ **高機能品による差別化と品揃えの拡充により、市場競争力を強化**

～パイロット試験（実機サイズの単管反応器）で実証～

① 現行プロセス（多段法）



② プロパン酸化触媒による新規プロセス（一段反応）



【期待される効果】

- ・製造コスト低減（安価原料転換、非在来型資源の有効利用）
 - ・環境負荷低減（省エネルギー、CO₂削減、汚染物質低減）
- （※）既存法に比して、CO₂排出原単位を32%削減可能（試算）

⇒ 新化学技術推進協会
第16回 グリーン・サステイナブル ケミストリー賞 奨励賞受賞



パイロット試験設備
（大分ケミカル）